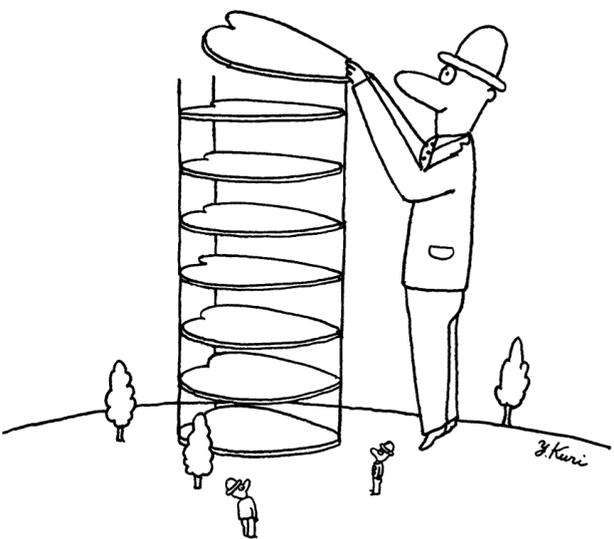
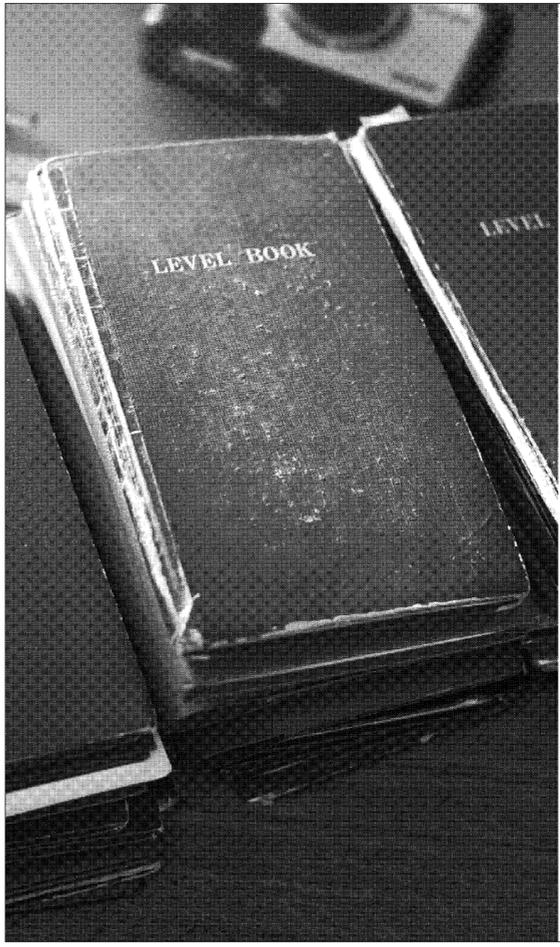


「**ゴッコウゴ**」です。  
 私たちが築くのは、



使う人の気持ちにこたえる「しあわせ品質」をお届けするために  
 技術力と人間力を掛け合わせた  
 独自の「現場力」をもって全力で取り組みます。  
 そして完成後も、運営、維持管理、修繕、再生まで一貫して携わり、  
 新しい物語が生まれ続けるくらしの舞台を、  
 時代をこえて支え続けていきます。

高める、つくる、そして、支える。  
 **熊谷組**



**未来を夢みる、という使命。**  
 確かな技術と、積み重ねた経験、豊かな人間力で、  
 新しい価値の創造を目指す安藤ハザマ。  
 社員が皆、建設現場へ出る際に携帯する手帳、通称「野帳」。  
 測量数値や連絡事項、上司からの貴重なアドバイスなどを  
 書き記すその手帳は、使い切った役目を終えると「宝物」となる。  
 あるベテラン社員は、「これは自分の歴史、財産」と言い、  
 ある若手社員は、「最初はすぐに使い切っていた。  
 でも今は1か月はもつ」と、野帳に自分の成長を見る。  
 未来を夢みる一人ひとりの思いが、ひらめきが、  
 今日もどこかで、小さな野帳に記されていく。

 **安藤ハザマ**  
 HAZAMA ANDO CORPORATION

東京都港区赤坂六丁目1番20号 TEL:03-6234-3600(代表)  
<http://www.ad-hzm.co.jp/>

# 建設キャリアアップシステム

図2 建設職人数の推移と今後の予測  
 (2015年までの国勢調査を用いた著者の分析) このままだと2040年には半減してしまう

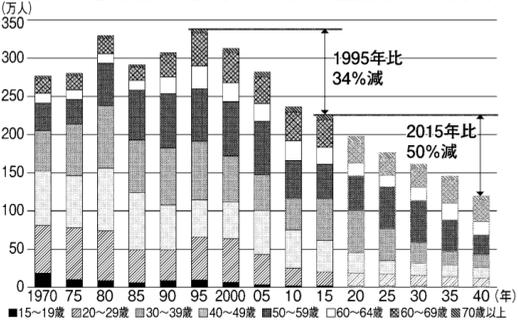
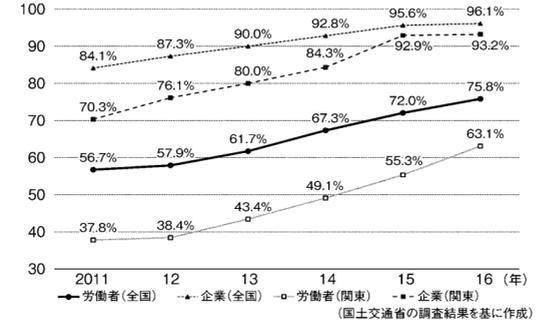


図1 公共工事労務費調査による社会保険(3保険)加入率の推移



建設需要は景気に左右されやすく、また、公共工事は年度単位、マンションは3月入居間に合うように完成などの事情により変動が大きいので、各社社は、最低限の人員のみを雇用し、それ以外は下請けに頼ること、経営的側面からみれば合理的ともいえる。しかし、社会保険などの経費がかさむ雇用を避け、健康保険や年

建設工事は主に総合建設会社が受注するが、実際に工事を行っているのは、鉄筋コンクリート、大工工事などの下請けの専門工事会社である。しかし、専門工事会社も全てを自ら行うことは少なく、工事の一部を再下請けに出すことが多く、同じことを、2次下請けや3次下請けも繰り返す。土木工事は、構造体だけなので専門職種が少なく下請けも3次程度で止まるが、建築は外装、内装、設備などに細分化するので下請けの幅が広く4次5次程度は一般的に存在し、それ以上に及ぶ場合もある。建設需要は景気に左右されやすく、また、公共工事は年度単位、マンションは3月入居間に合うように完成などの事情により変動が大きいので、各社社は、最低限の人員のみを雇用し、それ以外は下請けに頼ること、経営的側面からみれば合理的ともいえる。しかし、社会保険などの経費がかさむ雇用を避け、健康保険や年

**2019年度から本格運用へ**  
 製造業と建設業の違いは何か。さまざまあるが、最も大きいのは、建設業の生産現場は、現場で汗流して働いて対価として賃金を得ているので、見かたは労働者である以前に労働者として扱われない。そして、労働者でないのと同様に社員でもない。これが、建設業の構造問題。  
 建設業は主に総合建設会社が受注するが、実際に工事を行っているのは、鉄筋コンクリート、大工工事などの下請けの専門工事会社である。しかし、専門工事会社も全てを自ら行うことは少なく、工事の一部を再下請けに出すことが多く、同じことを、2次下請けや3次下請けも繰り返す。土木工事は、構造体だけなので専門職種が少なく下請けも3次程度で止まるが、建築は外装、内装、設備などに細分化するので下請けの幅が広く4次5次程度は一般的に存在し、それ以上に及ぶ場合もある。建設需要は景気に左右されやすく、また、公共工事は年度単位、マンションは3月入居間に合うように完成などの事情により変動が大きいので、各社社は、最低限の人員のみを雇用し、それ以外は下請けに頼ること、経営的側面からみれば合理的ともいえる。しかし、社会保険などの経費がかさむ雇用を避け、健康保険や年

2019年度からの本格運用に向け、建設業界では産官をあげて「建設キャリアアップシステム」の準備が進んでいる。このシステムは建設業で働く職人にIDカードを発行し、保有する資格や就労履歴を登録・蓄積することで、経験や能力を適正に評価し、処遇に反映させることを目指す仕組みだ。システム開発の背景には、将来の絶対的な担い手不足、積年の課題である建設業の構造的な問題への強い危機感がある。

おける健康保険、年金保険、雇用保険の3保険に漏れなく加入している割合である。低賃金などの建設業の問題を解決するために、国が社会保険未加入対策としてさまざまな政策を打ち出してきたことにより状況は急速に改善してきた。ただし、公共工事を受注できるのは一部の優良企業であり、大多数はこれを下回るのが実態といわれている。

芝浦工業大学工学部 教授 **蟹澤 宏剛**



人をつなぐ、  
 街を結ぶ、  
 未来へ延びる。

 信用と技術の **鉄建**  
<http://www.tekken.co.jp/>

今と未来を技術でつなぐ

これからも、この地球とともに

佐藤工業は1862年の創業以来、安心・安全で快適な空間の創造、良質な社会基盤の整備に取り組んでまいりました。これからも私たちは、夢のある未来社会の実現に向けて時代と共に歩み続け、豊かな地球環境を築くため、さらなる飛躍をめざしてまいります。

— 総合建設業 / 創業1862年 —  
 **佐藤工業株式会社**  
<http://www.satokogyo.co.jp>